

平成 22 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役 CEO 此下 竜矢  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

SHOWA RUBBER MALAYSIA SDN. BHD. (SRM) にて

大型受注を獲得しました。

当社のマレーシアにある海外子会社であり、ライニングメーカーとしてマレーシア国内のみならず、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシアなどでビジネス展開をしている、SHOWA RUBBER MALAYSIA SDN.BHD.(SRM)において、この度大型受注を獲得いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

SRM は、昨年 11 月に当社が東洋ゴム工業株式会社からその株式を取得し当社のグループの一員となりました。当社が買収する以前より SRM はその地の利から、マレーシアのみならずインドおよび陸海 ASEAN 諸国＝タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシアなどを営業範囲としておりました。現在では、さらに活動を強め、当社が打ち出している中期経営計画の、「海外（アジア）への展開」という分野において急先鋒となっております。

その SRM において、1973 年に設立されマレー国内のアルカリ製品を製造する老舗大手化学メーカーである「MALAY-SINO CHEMICAL INDUSTRIES SDN.BHD.」から、この度大型の「塩酸貯槽」と「塩水溶解槽」の 2 基のタンクの受注を獲得し 8 月までに納品を行う見込みです。同社はマレー国内に 3 ヶ所の工場を持ち、今回のタンクは東海岸にあるトレンガヌ州の工業地帯、ケママン地区の工場へ設置されます。

当該受注は、SRM の古くからの現地スタッフであり、現在では SRM の重要な経営の一角を担う R. Bala Krishnan Nair 氏によって獲得されました。

これら 2 基のタンクは直径最大 20M、高さは最大 13.5M という非常に大きなタンクであり、その用途からも、収縮性に富み、高い耐蝕性と耐熱性を併せ持った素材でゴムライニングを施行する必要があります。ライニングを得意としているのは SRM ばかりでなく、皆様も



SRM : R. Bala Krishnan Nair



ゴムライニング作業の様子

ご存じの通り当社子会社である昭和ゴム(株)も、ゴムライニングを主力事業としており、その製造に関しては80有余年の歴史を有し、独自の施工技術やライニング素材の配合等高い技術力とノウハウを持っております。この度の施工には東洋ゴムのライニング技術から受け継ぎました TOYOSEAL B-101 BUTYL RUBBER を採用させていただくこととしました。

取引先様には SRM の製品を安心して利用していただける様、品質管理やアフターフォローには最善を尽くして参ります。また、この例でも見られますように従来の昭和独自の技術に加え、東洋ゴム由来のノウハウを合わせるにより、ますます技術ならびに営業の範囲が拡大するものと考えております。

昨年当社が策定した当社中期経営計画におきましては、海外（アジア）への展開も重点項目のひとつとして掲げられております。その一環としてアジアでライニング事業を展開する SRM の株式を取得し、連結子会社化しました。

今後アジアでの人口増加や都市化、「草の根経済」の成長は疑いようもなく、それに伴い様々な工業製品の需要や電力消費量等が爆発的に増えることが見込まれております。発電所の建設計画や各種工業・化学プラントの建設計画も着実に進められており、それに合わせてゴムライニングの需要も増加傾向にあります。

アジアはいち早く経済が回復基調にあり、今後世界経済成長の先導を期待されております。その中でも、SRM がありますマレーシアは、他国に先駆けて3月に利上げを行うなど経済が再び順調に成長しつつあります。また、クアラルンプールーシンガポールージャカルタという海の ASEAN は中国からインドを結ぶ、アジア海上交通の要所でもあり、今後の成長が見込まれます。



SHOWA RUBBER (MALAYSIA) SDN.BHD.

当社グループといたしましては、アジアに本拠地を置く当社が所属する APF グループのネットワークも活用し、今後も積極的にゴムライニングの受注拡大も目指していく所存です。

今後とも中期経営計画を達成し、株主と社員の幸福に貢献する「200年企業」を目指し、日本国内と同じくアジア地域においても古くからのスタッフと、新しい経営が力を合わせて、経営改革を進めて参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

\*当社ならびに当社が所属する APF グループのアジア経済見通しについては、今年3月に新発売になりました当社最高経営責任者此下竜矢著書、「アジア投資で儲ける必勝法(角川SS)」に詳しく記しております。